

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度9月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：主要農作物対策費

## 事業名 **新** 県産米需要喚起・消費拡大事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 米麦大豆係 電話番号：058-272-1111 (内 2863)

E-mail： [c11423@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11423@pref.gifu.lg.jp)

### 1 事業費 補正要求額 49,922 千円 (現計予算額：0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	49,922	0	0	0	0	0	0	0	49,922
決定額									

### 2 要求内容

#### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス感染症の影響により外食産業の需要低迷が長期化していることから、家庭内消費需要への県産米の競争力強化を図るため、魅力ある米商品を企画・販売するとともに、県内の県産米販売店が実施する消費拡大・需要喚起キャンペーンの取組みを支援する。

#### (2) 事業内容

県内事業者(直売所、小売事業者、流通販売事業者等)が実施する、県産米の需要創出に向けた取組みに対して支援する。

- ・優位性で売場確保を目指す米増量販売事業
- ・消費拡大を目指す消費者向け県産米プレゼント事業

#### (3) 県負担・補助率の考え方

県 10 / 10

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	30,330	県産米の需要創出に関する事業経費への支援
委託料	19,592	県産米の消費拡大を支援
合計	49,922	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業・農村基本計画

1 (2) 安心して身近な「ぎふの食」づくり

③水田農業における安定供給体制の構築と新たな展開

(2) 後年度の財政負担

なし

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

**（事業目標）**

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 国による米の生産数量目標の配分が廃止され、米の供給過剰に伴う米価下落が懸念される中、生産者自らの経営判断や販売戦略に基づき、需要に応じた米づくりに取り組む体制を支援する。

**（目標の達成度を示す指標と実績）**

指標名	事業開始前 (R3年度4月)	指標の 推移	指標の 推移	現在値	目 標	達成率
米の民間在庫量 (玄米)	19.5千トン	/	/	19.5千トン	18.8千トン	/

○指標を設定することができない場合の理由

**（前年度の取組）**

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

**（前年度の成果）**

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い     △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	新型コロナウイルス感染症の影響から、外食産業の需要が落ち込んでいる米の消費拡大を促進する事業を展開することは、農業者の経営安定を図ることができる。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている     △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	県内の米を取り扱う事業者に支援することで、効率的な支援が可能である。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の影響から、外食産業の需要が落ち込んでいる米の消費拡大を実施することで、県産米の競争力強化を図ることが重要。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症の影響による事業のため単年で終了</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】

## 県単独補助金事業評価調査書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	県産米需要喚起・消費拡大事業費補助金
補助事業者（団体）	県内事業者（直売所、小売事業者、流通販売事業者） （理由）農業者から出荷される岐阜県産米を販売する主要民間事業者で、大量の米穀を取扱うため
補助事業の概要	（目的）新型コロナウイルス感染症の影響により外食等を中心に需要が減少している。 （内容）岐阜県産米の需要喚起・消費拡大事業を展開し、そのかかり増し経費を支援する。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）補助率 10/10 （理由）事業実施主体の負担を極力軽減したうえで県産米の消費拡大を促すものであることから、予算の範囲内で販促に要した経費の負担が妥当
補助効果	新型コロナウイルス感染症の影響から、米の消費量が減少する中、県産米の消費拡大事業を支援することで、農業者の経営安定を図ることができる。
終期の設定	終期 令和3年度 （理由）新型コロナウイルス感染症の影響による支援のため

### （事業目標）

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>国による米の生産数量目標の配分が廃止され、米の供給過剰に伴う米価下落が懸念される中、生産者自らの経営判断や販売戦略に基づき、需要に応じた米づくりに取り組む体制を支援する。</p>
---

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3年度4月)	目標 (R4年度4月)	目標 (終期)
米の民間在庫量（玄米）	19.5千トン	18.8千トン	18.8千トン

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (要求)
補助金交付実績	0千円	0千円	0千円	(予算額) 0千円	(要求額) 0千円
指標①目標					
指標①実績				(推計値)	(推計値)

指標①達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %
指標②目標					
指標②実績				(推計値)	(推計値)
指標②達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項  
 新型コロナウイルス感染症の影響から、外食産業の需要が落ち込んでいる米の消費拡大を実施することで、県産米の競争力強化を図ることが重要。

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い     △：必要性が低い	
(評価)	○     新型コロナウイルス感染症の影響から、外食産業の需要が落ち込んでいる米の消費拡大を促進する事業を展開することは、農業者の経営安定を図ることができる。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている     △：向上の余地がある	
(評価)	○     県内の米を取り扱う事業者に支援することで、効率的な支援が可能である。

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・**廃止**  
 (理由) 新型コロナウイルス感染症の影響による事業のため単年で終了